



人間発達研究所 第33回研究集会

「可逆操作の高次化における階層一段階理論」は 学校教育にどう向き合うか

発達と教育の関係は古くて新しい問題です。

今回の学習指導要領の改定に対しては様々に問題が指摘されていますが、

教育課程を発達的な視点で考えるとどうなのか、現場から実践的に検証していく課題があります。

例えば、「発達の原動力にあわせた教育的源泉の組織とはどうすることか」、「原動力をとらえた教育のあり方」、田中昌人が対称性原理との関係で提起した発達の階層と発達保障の階梯の構造化など「教育階梯論」についてどう理解するか、など考え合いたいと思います。

日時 2018年7月14日(土) 10:00~15:00 (9:30受付開始)

講師 加藤聡一さん(名古屋芸術大学人間発達学部)

指定討論 白石恵理子さん(滋賀大学)・西島悟司さん(人間発達研究所運営委員長)

会場 大津市ふれあいプラザ 大会議室

交通 JR琵琶湖線「大津駅」より路線バスで「浜大津」下車(100円)

または京阪「びわ湖浜大津」下車 徒歩約3分

費用 会員無料/一般600円

※昼食は各自ご用意いただくか、近くの食堂をご利用ください

主催 人間発達研究所 (<http://www.j-ihd.com/>)

〒520-0052 滋賀県大津市朝日が丘1-4-39 梅田ビル3階

Tel/Fax 077-524-9387 Email j-ih63su@j-ihd.com

終了後に第34回人間発達研究所総会を予定しています

